

## ●地域ケアプラザ・地域包括支援センターとの連携

地域ケアプラザは、市民の誰もが住み慣れた地域において健康で安心して暮らせるよう、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設です。

地域包括支援センターは、介護保険法に定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。横浜市では、地域ケアプラザ及び市が指定する特別養護老人ホーム（緑区では、「特別養護老人ホーム ふじ寿か園」）に、機能の一つとして地域包括支援センターを設置しています。

緑区内の地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの紹介や主な取組は、P. 84～90をご覧ください。ここでは、共通の取組を紹介します。

### 【緑区制50周年記念事業 緑区民まつり】

県立四季の森公園で毎年行われている緑区民まつりですが、2019年は、区制50周年！お祝いムードを盛りあげよう！ということで、緑区内6か所の地域ケアプラザとふじ寿か園の地域包括支援センター職員が一同に協力して、おまつりに訪れた方が楽しめるようにと企画を練りました。①紙飛行機大会 ②まちがいさがし ③ビー玉つまみ大会を行いました。どの種目にも多くの老若男女が参加して、真剣に取り組んで、結構熱くなって、何度もトライしている方もいました。例年、6か所の地域ケアプラザとふじ寿か園の地域包括支援センターが連携して区民にケアプラザ周知の一環としても区民まつりへの参加をさせていただいて来ましたが、今年はとにかくお祝いムードを盛り上げることを第一の目標に職員自身も楽しませていただきました。



### 【エンディングノート普及啓発事業】

今年度、横浜市内全区でエンディングノートの作成が進められ、緑区では5月に「緑区エンディングノート」が完成しました。

その後、PR事業の先駆けとして、6月29日に「エンディングノート講演・映画上映会」を緑区公会堂で開催しました。内容は、エンディングノート書き方説明会と映画「オケ老人」の上映でした。当日は定員を上回る来場者があり、大盛況に終えることができました。(P.82 参照)

以降、北部（長津田、霧が丘、十日市場）、中部（中山、ふじ寿か園）、南部（鴨居、東本郷）の区内3か所で、エンディングノート講座を開催しました。こちらでも多くの参加があり、エンディングノートに対する関心の高さが伺えました。

その他、各地域ケアプラザ等では、老人会や自治会等へ出張してエンディングノート講座を開催しました。

これからも、エンディングノートが必要な方へ広く行渡るように取組んでいきます。